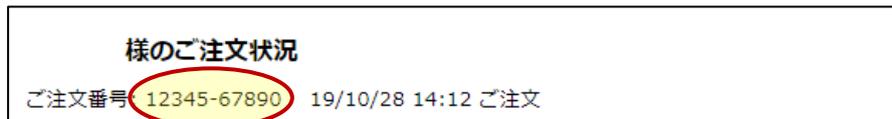


次のリンクから設定方法をご確認ください。

<https://tokyosystem.cf/ea/post-101667/>

パラメータ タブの一番最後にある項目「Receiptnumber」には、**注文番号**を入力してください。（認証の反映までに2営業日程度かかる場合がございます。）



正常に認証できると「Authentication Success!!」と表示されます。また、チャート右上のマークが☺になっていることでも確認できます。

口座の変更を行う場合 ※回数制限があります。

1. 初回と同じように、データフォルダにファイルを格納して、EAの設定を行います。
2. 「Receiptnumber」に注文番号、「ResetReg」を True にして、認証します。
3. 正常に認証できると「Authentication Success!!」と表示されます。

また、右上のマークが☺になっていることでも確認できます。

4. チャート上で右クリック > エキスパートアドバイザー > 設定 を開き、パラメータ タブの「ResetReg」を「false」に戻して、OK を押します。

注意事項

リアル運用前にバックテスト・フォワードテストを行ってください。

「自動売買を許可する」をチェックすると、本当の取引を行います。損失が生じる可能性もありますので、バックテストなどでご確認のうえ、自動売買の許可を判断してください。

また、ストラテジーテスターでバックテストを行うだけの場合は、「自動売買を許可する」にチェックする必要はありません。

バックテストとフォワードテストの違い

バックテスト

- 過去データを利用したテスト
- バックテストは相場の変動に耐えられるかを確認
- 証券会社によってレートが異なるため、バックテストと同じ動きを期待することは難しい

フォワードテスト

- デモ口座、または少額のリアル口座で実際に運用して確認
- スプレッドやスリッページ、約定力など環境条件が反映される